

輝けロータリアン、ささやけ歴史の真実

～あなたの笑顔が見たいから～



行田ロータリークラブ

国際ロータリー第2570地区 第5グループ

2023-24RI 会長:ゴードン R.マッキナリー ガバナー:高丹秀篤 会長:坂本研一/幹事:小池俊輔

例会日:木曜日午後 12:30 会場:キングアンバサダー 編集・発行:IT、公共イメージ向上委員会 委員長:小松和弘

第34回(第2733回) 2024年 4月 第3例会 4月24日(水)～25日(木)

[研修親睦旅行]

多賀城碑文・松島・宮城峽他

会長挨拶 / 坂本研一会長

【研修親睦旅行・多賀城碑文を訪ねる旅】

(源氏物語のルーツを探る旅)

多賀城碑文

西

多賀城

去京一千五百里

去蝦夷國界一百廿里

去常陸國界四百十二里

去下野國界二百七十四里

去靺鞨國界三千里

此城神龜元年歲次甲子按察使兼鎮守將軍從四位上勳四等大野朝臣東人之所置也天平寶字六年歲次壬寅參議東海東山節度使從四位上仁部省卿兼按察使鎮守將軍藤原惠美朝臣朝獺修造也

天平寶字六年十二月一日

多賀城碑は、設置者の藤原朝狩が蝦夷平定を成し遂げた自身の功績を顕彰するために建造された。碑の上部に大きく刻印されている「西」の文字も、碑が西方の彼方、京の天皇へのアピールのためであることを示し、碑自体も西に向かって屹立している^[3]。

碑に記された建立年月日は、天平宝字6年12月1日(ユリウス暦762年12月20日)で、多賀城の修築記念に建立されたと考えられる。内容は、都(平城京)、常陸国、下野国、蝦夷国、靺鞨国から多賀城までの行程を記す前段部分と、多賀城が大野東人によって神龜元年(724年)に設置され、惠美朝狩(朝獺)によって修築されたと記す後段部分に大きく分かれる。江戸時代から保護のための覆堂の中に入れられ、場所は古代の多賀城南門の前である。復元模型が東北歴史博物館に展示されている



北碑南帖 (中国南北朝時代 400 年代、華北は石碑、江南は紙で記録)

多賀城碑文の西方面



- 1. 平城京、2. 南京南海府 (渤海使出発地)、3. 平城 (北魏都)

ポイント1. 西

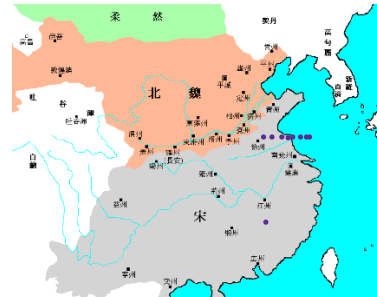
碑文は西を向いている。その方向には何が有るか？京の丑寅の鬼門の位置にあるのであれば表鬼門の抑え(塩竈神社は多賀城の鬼門封じ)

ポイント2. 靺鞨

靺鞨の境を去ること 3000 里。渤海国の使節団はこの港から

ポイント3. 平城

時代は奈良時代平城京の時代平城京は南西にあるがもう一つ西にある。
北魏の都(平城京)386 年-535 年。道武帝は牧畜地帯に基盤を置いて中原の農耕地帯を支配する体制を取るために平城にこだわった。こうして北魏の基礎は確立された



北魏時代の仏像彫刻の様式が日本に伝来します。力強く端正な北魏伝来の仏像は北魏様式とよばれました。北魏様式の仏像を製作したのは仏師鞍作鳥(止利仏師)の一派です。飛鳥寺釈迦如来像や法隆寺金堂釈迦三尊像などは北魏様式の傑作とされます。

源 賀(げん が、407年 - 479年)は、南涼から北魏にかけての軍人・政治家。もとの姓は禿髮、もとの名は破羌。南涼の景王禿髮傉檀の子。414年(嘉平7年)、西秦の乞伏熾磐に南涼が滅ぼされると、破羌は北涼の沮渠蒙遜のもとに逃れた。まもなく北魏に亡命し、太武帝により西平侯の爵位を受け、龍驤將軍の号を加えられた。太武帝は禿髮氏と拓跋氏の源が同じであるとして、**破羌に源氏の姓を与えた源賀の子孫はその後唐の時代までその命脈を保っている。**

439年(太延5年)、太武帝が北涼に侵攻すると、破羌は道案内をつとめた。北涼に与する四部鮮卑の招諭につとめ、3万戸あまりを帰順させた。魏軍が姑臧を包囲すると、破羌も包囲に参加して戦った。北涼が平定されると、破羌は征西將軍の号を受け、西平公に進んだ。柔然に遠征し、五城の吐京胡を討ち、蓋吳の諸賊を破るなど、戦功を挙げた。散騎常侍の位を受けた。450年(太平真君11年)、太武帝の南征に従って前鋒大将となり、翌年には長江北岸まで進軍した。**太武帝は破羌に賀の名を与えた。源賀は殿中尚書に任じられた。**

北魏の朝廷において源賀は「治為第一」と考課された。466年(天安元年)3月、源賀は太尉に任じられた。源賀の子孫は

源 懐(げん かい、444年 - 506年)

源 子邕(げん しょう、488年 - 527年)北魏の官僚・軍人、征北將軍鎮東將軍

源 延伯(げん えんはく、504年 - 527年)戦闘での勇猛さは軍中で第一

源 彪(げん ひょう、521年 - 586年)は、北魏から隋にかけての政治家

源 師 604年、煬帝が即位すると、大理少卿に任ぜられた。

源光裕 725年死去 唐代に至っても史書に源氏の子孫は名前を残している

どの時代、源氏が伝わったか・・・

【 日本の源氏は嵯峨源氏から 】

弘仁5年(814年)嵯峨天皇は、源信・源弘・源常・源明の4皇子と、源貞姫・源潔姫・源全姫・源善姫の4皇女が源朝臣姓を与えられて左京に貫附されたのを始まりとする。結局、嵯峨天皇の50名の子の内、皇子17名・皇女15名が源朝臣姓を与えられて臣籍降下した。源融(第12王子)は源氏物語のモデル(藤原冬嗣の時代)

※疑問1. 桓武天皇は臣籍降下に平氏を使用、なぜ子の嵯峨天皇は源氏を使用

※疑問2. (菓子乱の)平城天皇は平城京に帰ろうとした・・・なので平城天皇・・・

※疑問3. 嵯峨という文字は中国では急峻な山に囲まれたという意味

【恵美朝狩】天平宝字6年12月1日(ユリウス暦762年12月20日)で、多賀城の修築記念に建立された。藤原朝狩は藤原家南家の末裔、**中臣氏の先祖は継体天皇(第3王朝の祖507年58歳即位)に仕える。継体は越の国より19年かかり畿内に入る。526年(77歳)**

様子

皆様のご協力で多くの写真を頂戴しました。ありがとうございました。下記以外の写真はメーリングリストに記載のサイトをご覧ください。



